



2023年12月12日

各 位

会 社 名 株式会社ノーリツ
代 表 者 名 代表取締役社長 腹巻 知
(コード 5943 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役 廣岡 一志
兼 常務執行役員
(電話番号 078-391-3361)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、本日開催の取締役会において、2022年度の実効性評価における課題に対する取り組み結果ならびに2023年度の実効性評価の結果および今後の課題を確認しましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 2022年度の実効性評価における課題に対する取り組みについて

当社取締役会は、前回の実効性評価に基づいて、取り組むべき課題を定め、実効性向上に取り組みました。

- (1) 当社が長期的に目指す姿を設定し、その姿から遡った中長期的な経営戦略を議論する機会を取締役会で増やしていく。
 - ・ 取締役会において将来の経営環境の変化を踏まえた上で、当社が長期的に目指す姿を議論しました。
 - ・ 年間を通じてあらかじめ計画的に経営戦略に関する議題を設定し、議論を重ねました。
- (2) 次期中期経営計画策定にあたり、価値創造ストーリーに沿って、経営戦略（事業、財務、ESG）、経営目標および経営ビジョンを提示する。
 - ・ 価値創造ストーリーに沿った経営計画を達成するために重視する、財務的・未財務的な経営目標について議論を行いました。
 - ・ 次期中期経営計画における経営ビジョンおよび当社のバリューについて、価値創造ストーリーに沿った議論を行いました。
- (3) 取締役会のモニタリング機能をこれまで以上に強化し、モニタリングすべき対象を明確にする。
 - ・ 株主との対話における社外取締役の出席、および社外取締役のみで取締役会の議題等について意見交換を行う「社外役員ミーティング」の設置等により、社外取締役の実効性を向上させ、取締役会のモニタリング機能を強化しました。
 - ・ 特にモニタリングすべき対象を、事業状況の進捗確認および地政学リスク等の重要リスクに明確化しました。

2. 2023年度評価方法

- (1) 取締役会の実効性評価を中立的・客観的に検証するため、第三者機関関与のもと、在任するすべての取締役9名に対し、アンケートを実施し回答を得ました。

アンケートの主な項目は次のとおりです。

- ・ 取締役会の構成
 - ・ 取締役会の運営
 - ・ 取締役会の議論
 - ・ 取締役会のモニタリング機能
 - ・ 社外取締役のパフォーマンス
 - ・ 取締役に対する支援体制
 - ・ トレーニング
 - ・ 株主（投資家）との対話
 - ・ 自身の取組み
 - ・ 総括
- (2) 社外取締役の問題意識をアンケートに反映させるため、設問作成のプロセスに社外取締役が関与しました。
- (3) 第三者機関が分析した評価結果をもとに取締役会で意見交換を行い、取り組むべき課題を議論しました。

3. 取締役会の実効性に関する評価結果の概要

上記による評価の結果、当社取締役会は適切に機能しており、取締役会の実効性が確保されていることを確認しました。

一方、取締役会の実効性をさらに高めていくために取り組むべき課題として、次のような意見が出ました。

- (1) 取締役会においてより時間をかけて議論すべき経営課題について、計画的な議題設定を行うことで議論する機会を増やす。
- (2) 取締役会において承認・決議された重要な意思決定に対して、適切な振り返りおよび進捗確認等によるモニタリングを行う。
- (3) 統合的リスクマネジメントシステム（ERM）について議論し、ノーリツグループ全体での一体的なリスクマネジメントを実施する。

4. 今後の対応

当社取締役会は、今回の実効性評価に基づく課題に対し、取締役会のさらなる実効性向上のために必要な取組みを実施し、改善に努めます。なお、当社は、取締役会の実効性評価を今後も定期的 to 実施し、より良いコーポレートガバナンスの実現を目指します。

以上